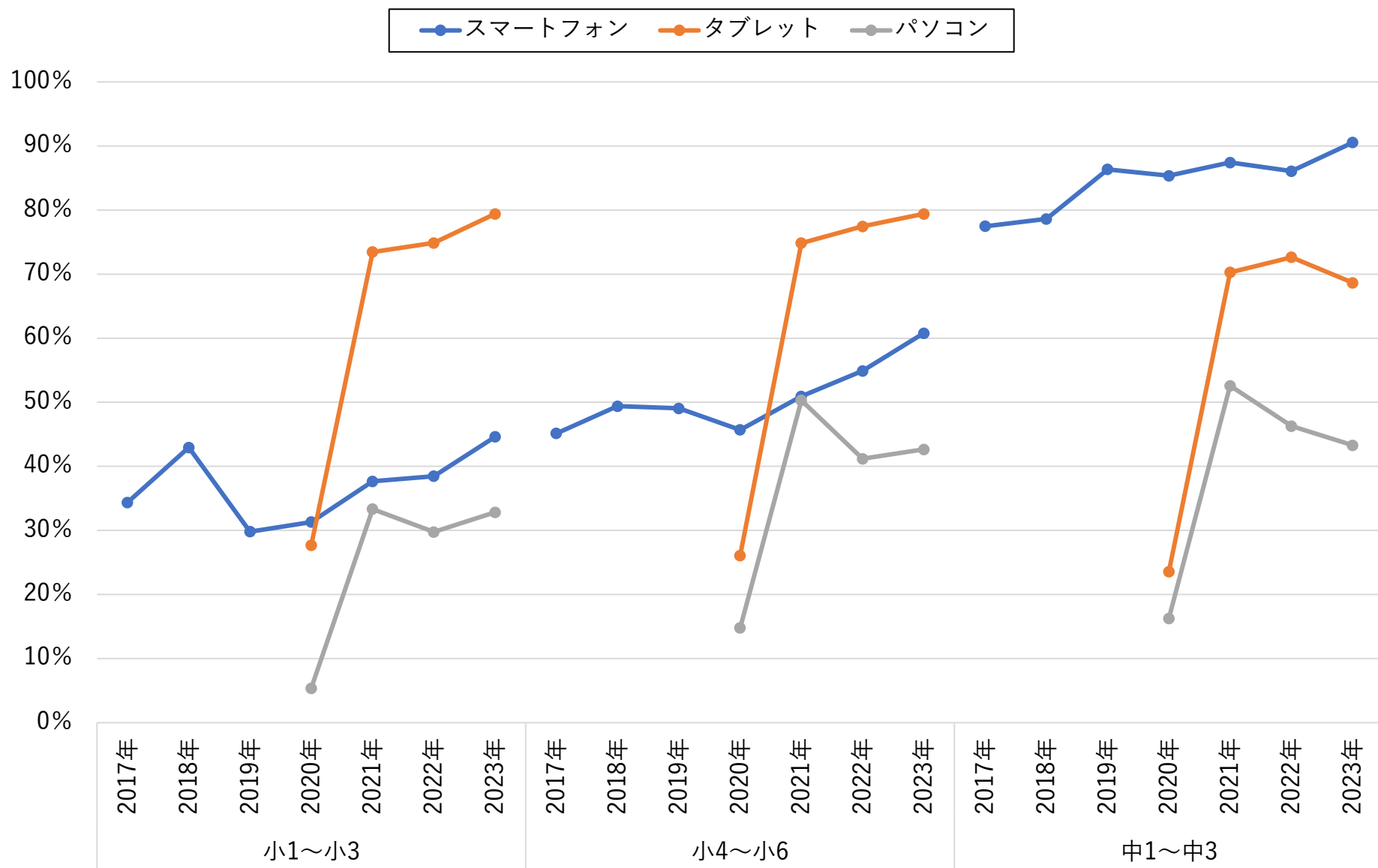


小中学生のICTスキルと情報活用能力の関係

- 水野 一成 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)
- 近藤 勢津子 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)
- 吉良 文夫 (株式会社N T Tドコモ モバイル社会研究所)

スマホの利用率は上昇傾向が続く、タブレット及びパソコンは2021年に大きく伸びる



目的

ICTスキルと情報活用能力の関係を確認する

調査概要

調査時期	2023.10
調査方法	訪問留置調査法
調査対象	関東1都6県 小中学生の親子
標本抽出方法	QUOTA SAMPLING 性別・学年・都市規模で割付
サンプル数	600

分析方法

ICTスキル（基本・応用スマホ・発展パソコン）を学年別に情報活用能力の得点で比較する

■ 全体 ■ 小1～小3 ■ 小4～小6 ■ 中1～中3

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

写真や動画を撮影することができる

スマホで文字入力ができる

インターネットを使って情報を検索できる

パソコンのキーボードで文字入力ができる

SNSで、見せたい人にだけに情報をおくることができる

指定されたフォルダへファイルに名前を付けて保存できる

スマホやタブレットを、ほかのひとがつかえないように設定できる

スマホやタブレットを最新のOSにアップデートする

ブログや動画などをインターネットで共有する

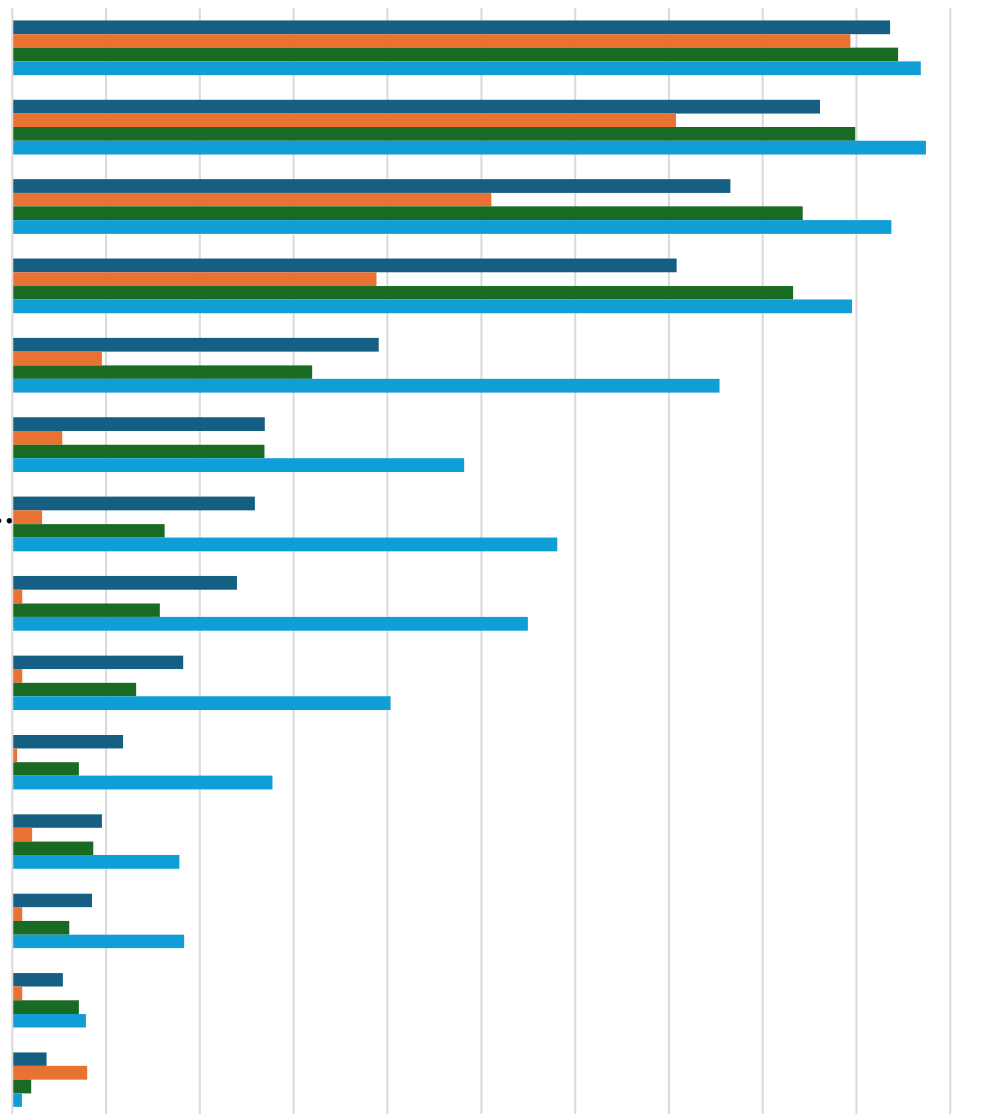
自分のスマホでQRコード決済をおこなう

画像のファイルサイズ（容量）の変更ができる

エクセルなどの表計算ソフトでグラフを作成できる

プログラミングをしてアプリやシステムをつくれる

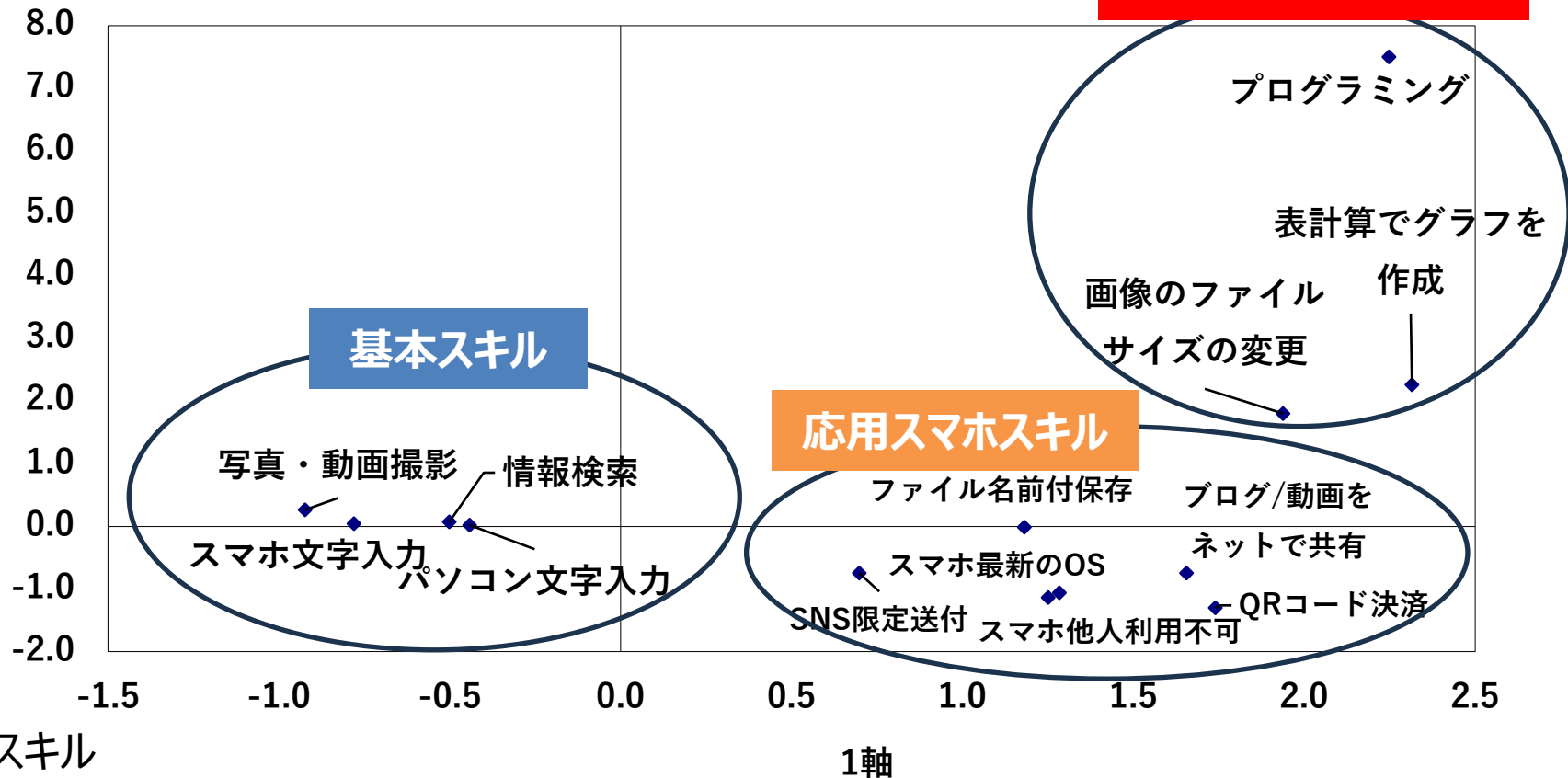
この中にあてはまるものはない



「基礎スキル」「応用パソコンスキル」「発展スマホスキル」に分かれる

2軸

パソコンスキル

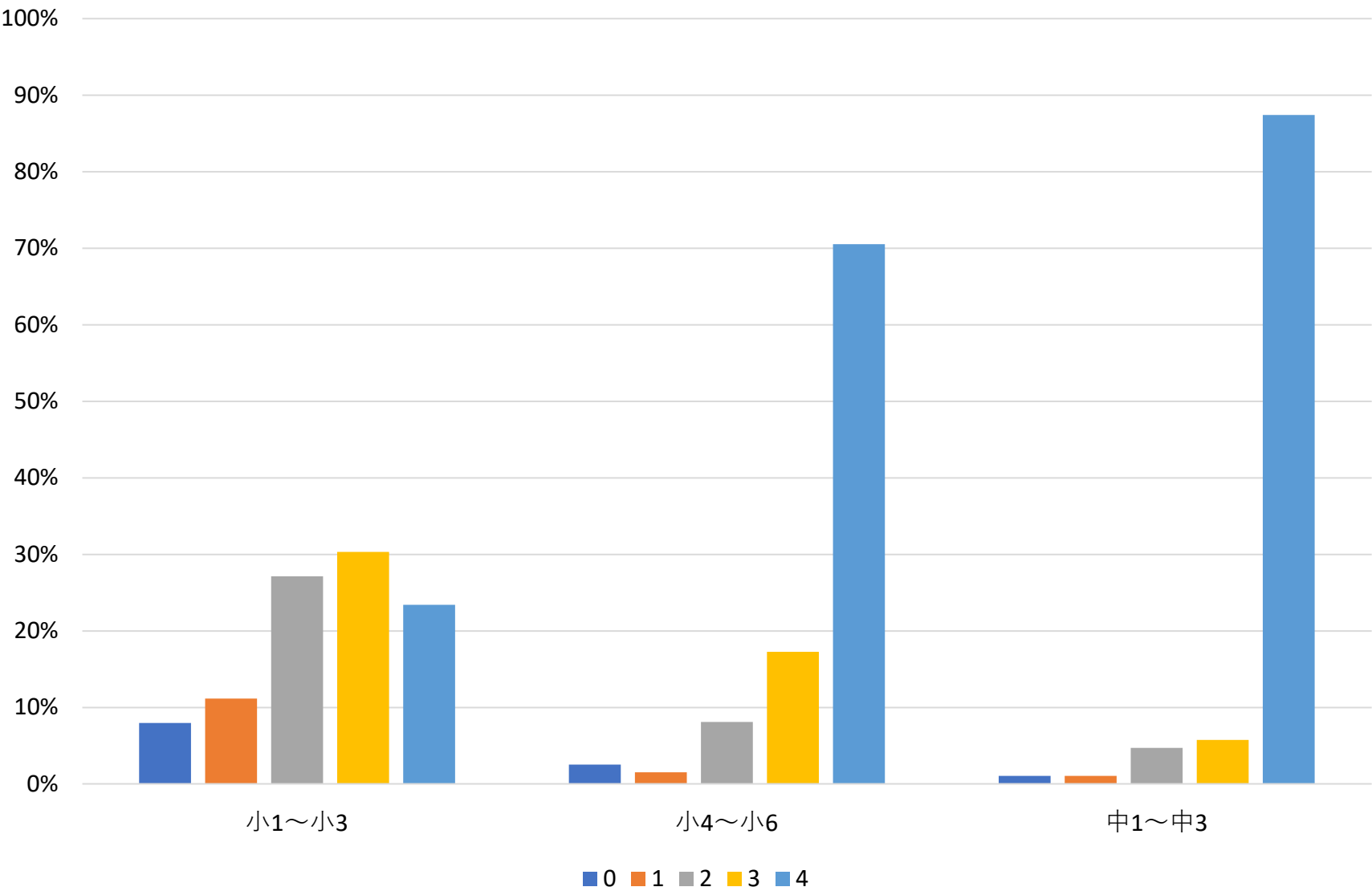


スマホスキル

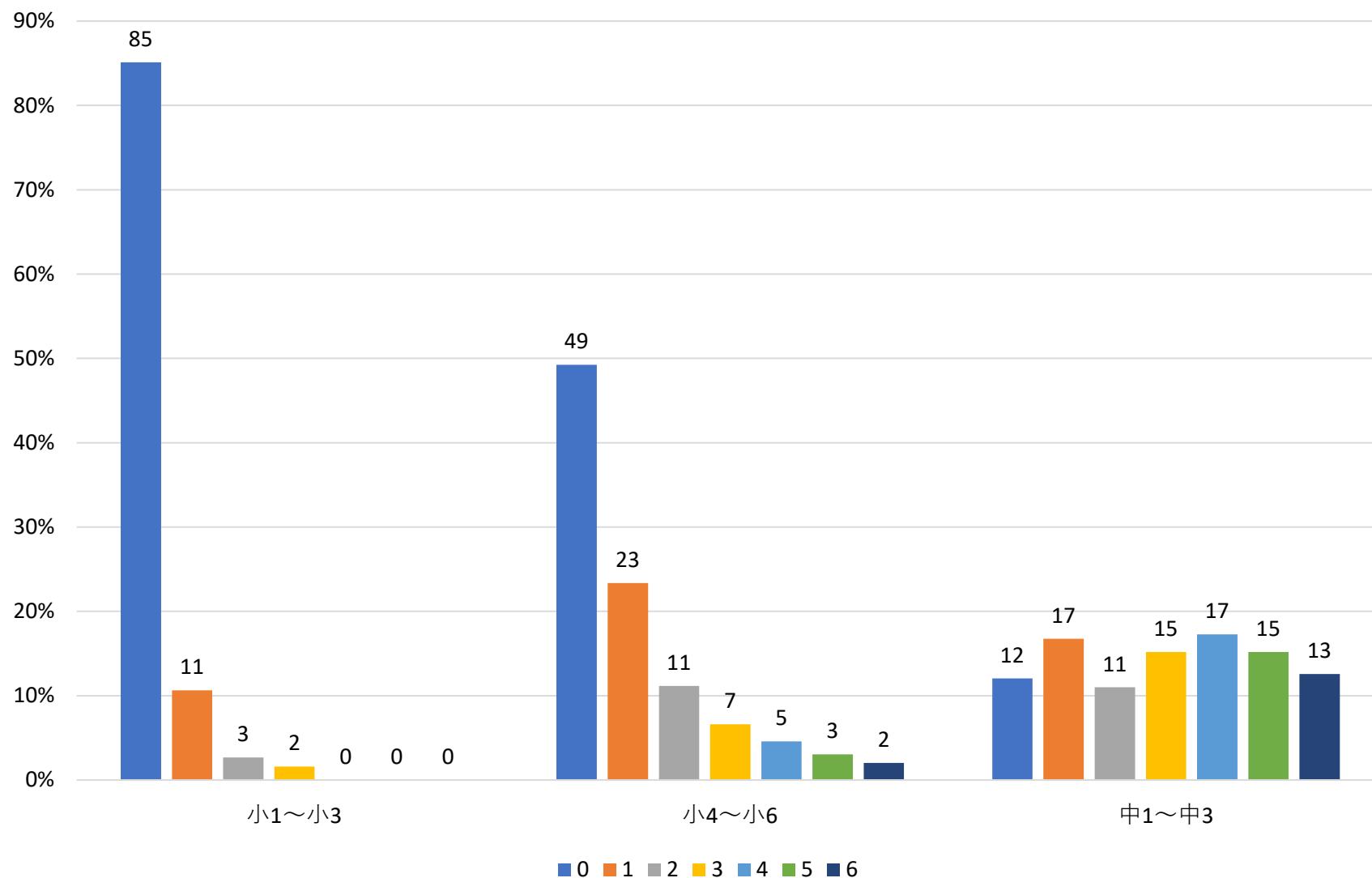
基礎

応用

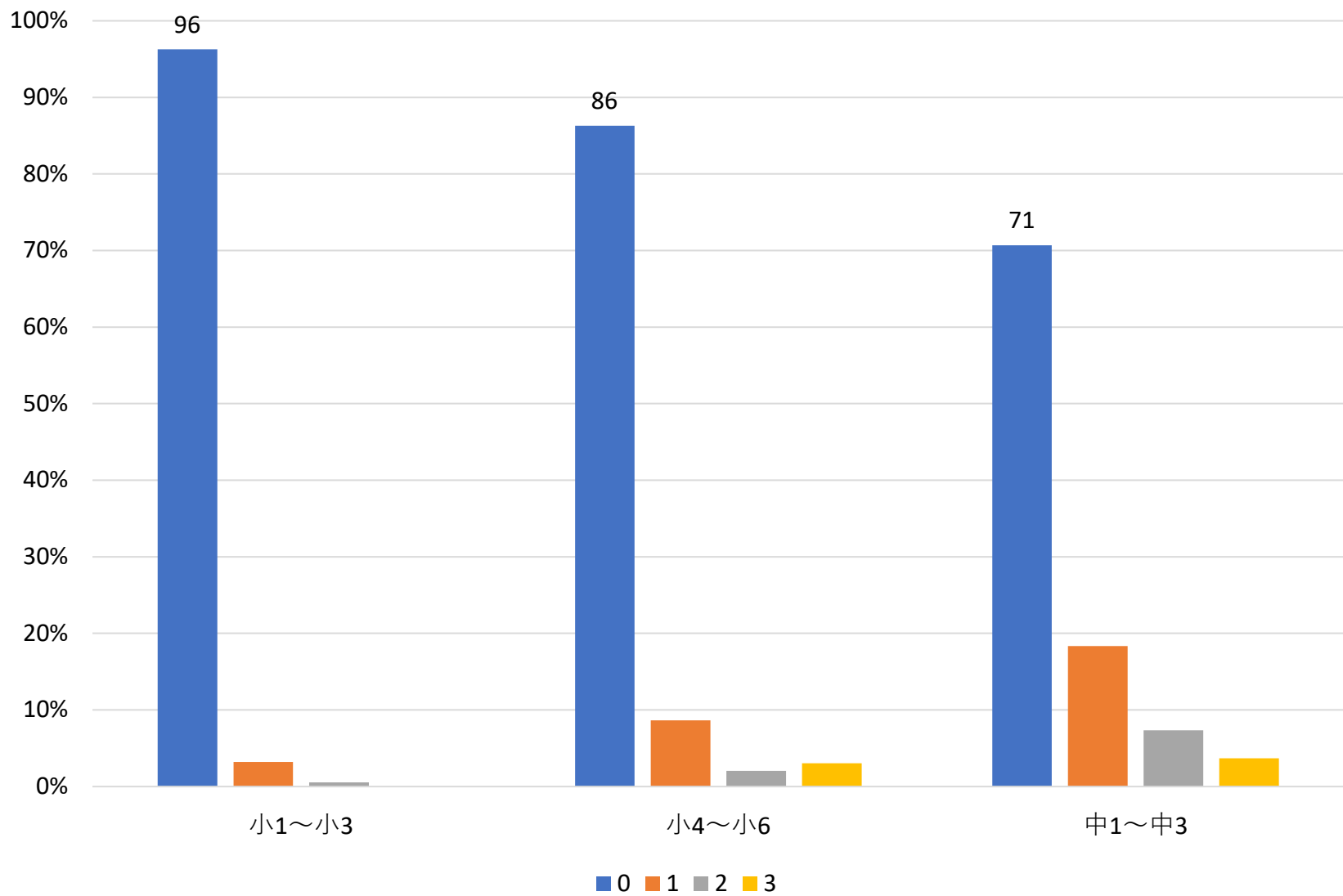
小学校高学年・中学生だと7割以上が4項目全て出来ると回答



小学校高学年も半数が1つ以上出来ると回答



中学生の3割が1つ以上出来ると回答



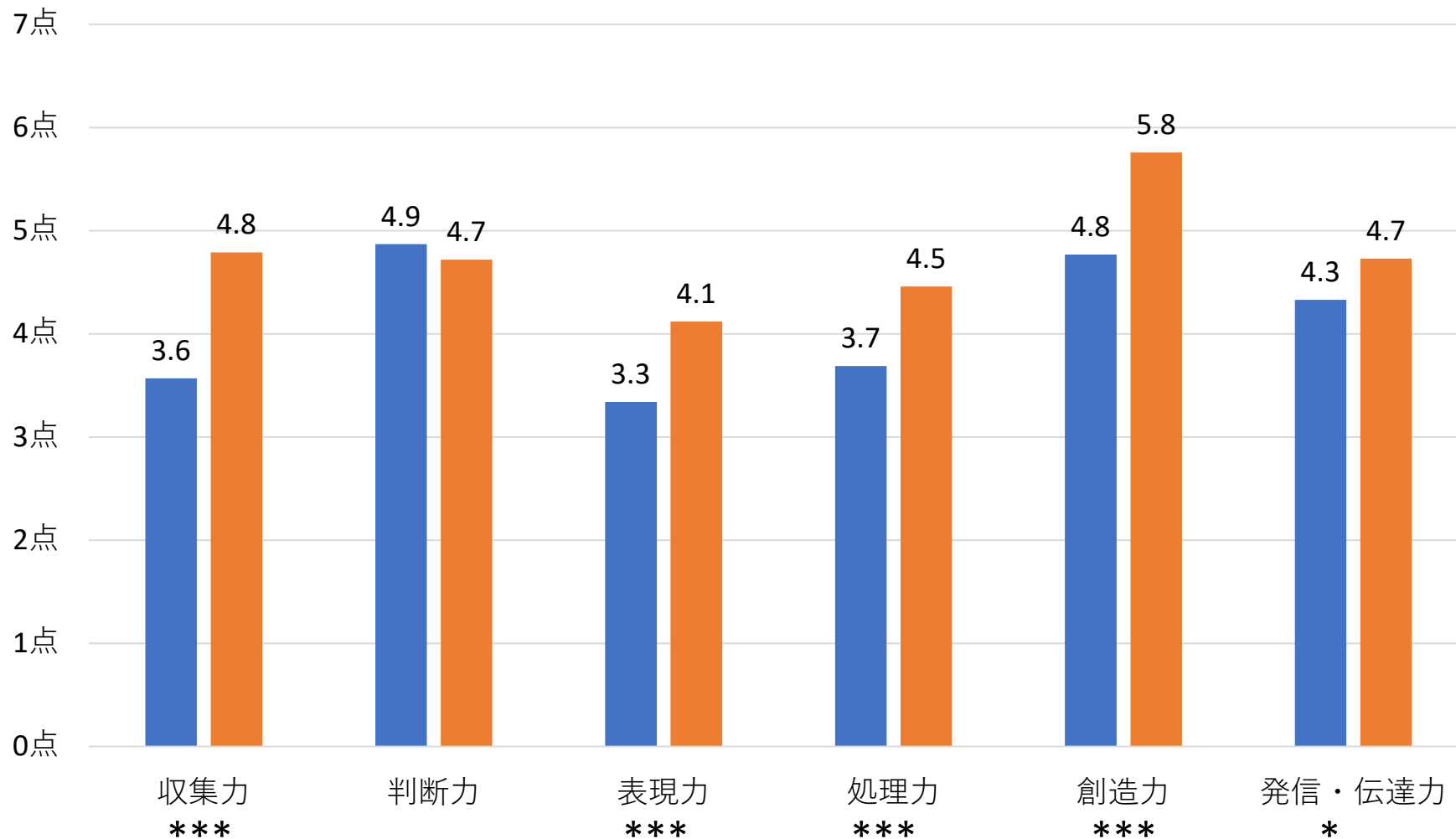
少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する

	基本	応用 スマホ	発展 パソコン
小1～小3	○	—	—
小4～小6	○	○	—
中1～中3	—	○	○

情報活用実践力	収集力	a. わからない事があれば、辞書・ネット等で調べる
		b. ニュースを、あまり見ないほうだ (※)
	判断力	c. 人の噂をすぐ信じるほうだ (※)
		d. 新聞やテレビ、ネットで言われること、書かれていることを、すぐ信じるほうである (※)
	表現力	e. 調べたことを整理するとき、文章だけでなく図や表も活用するよう心がけている
		f. 集めた資料を整理するのは苦手である (※)
	処理力	g. 意見がたくさんあっても、うまくまとめることができる
		h. 筆者が一番言いたいことを把握するのは苦手である (※)
	創造力	i. 人の意見に流されやすい方である (※)
		j. 自分なりの考えをもつようにしている
	発信・伝達力	k. わかりやすい文を書くのは苦手である (※)
		l. 人に伝える時、なるべく難しい言葉を使わないように気をつけている

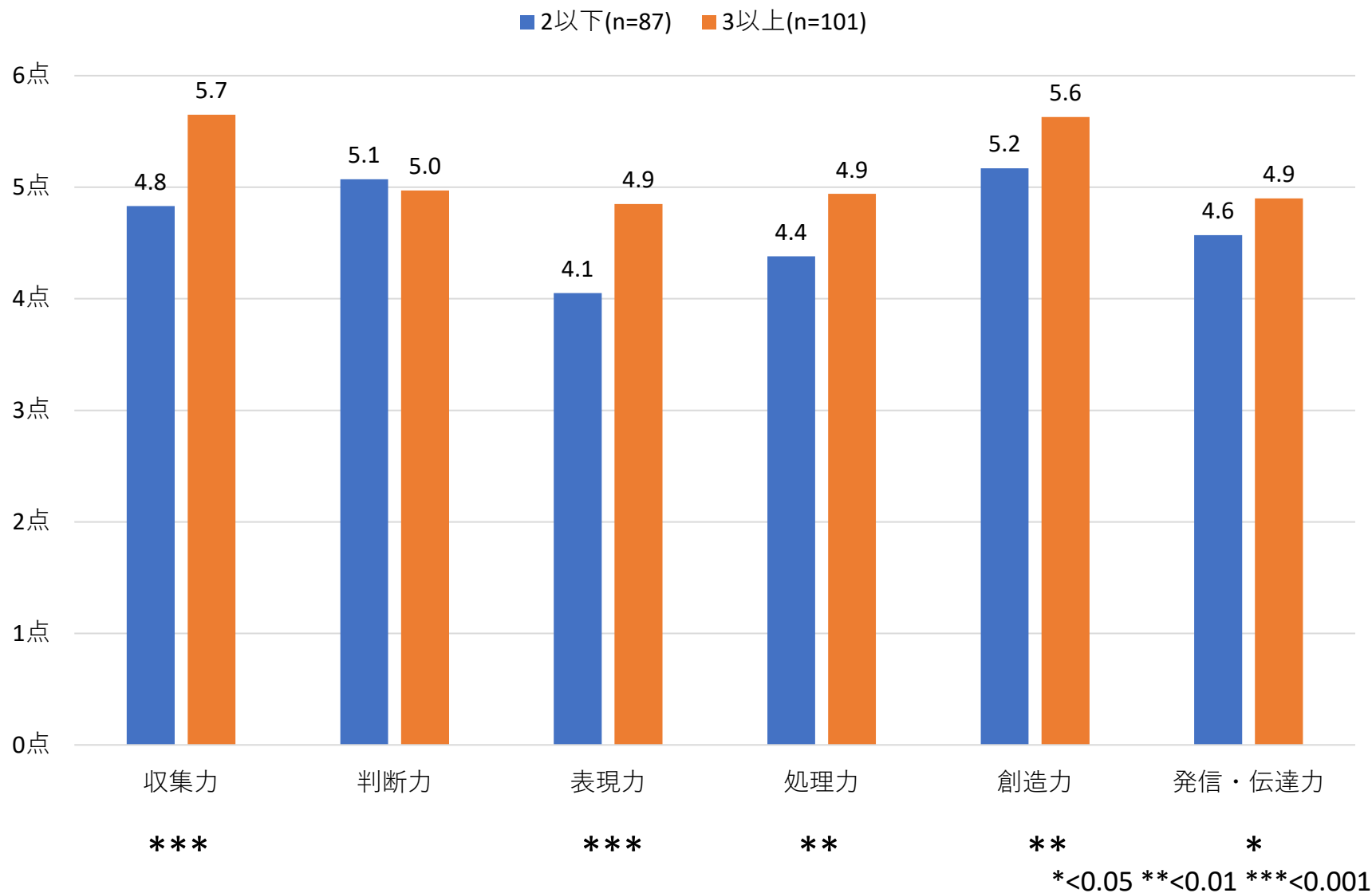
少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する

■ 2以下(n=87) ■ 3以上(n=101)

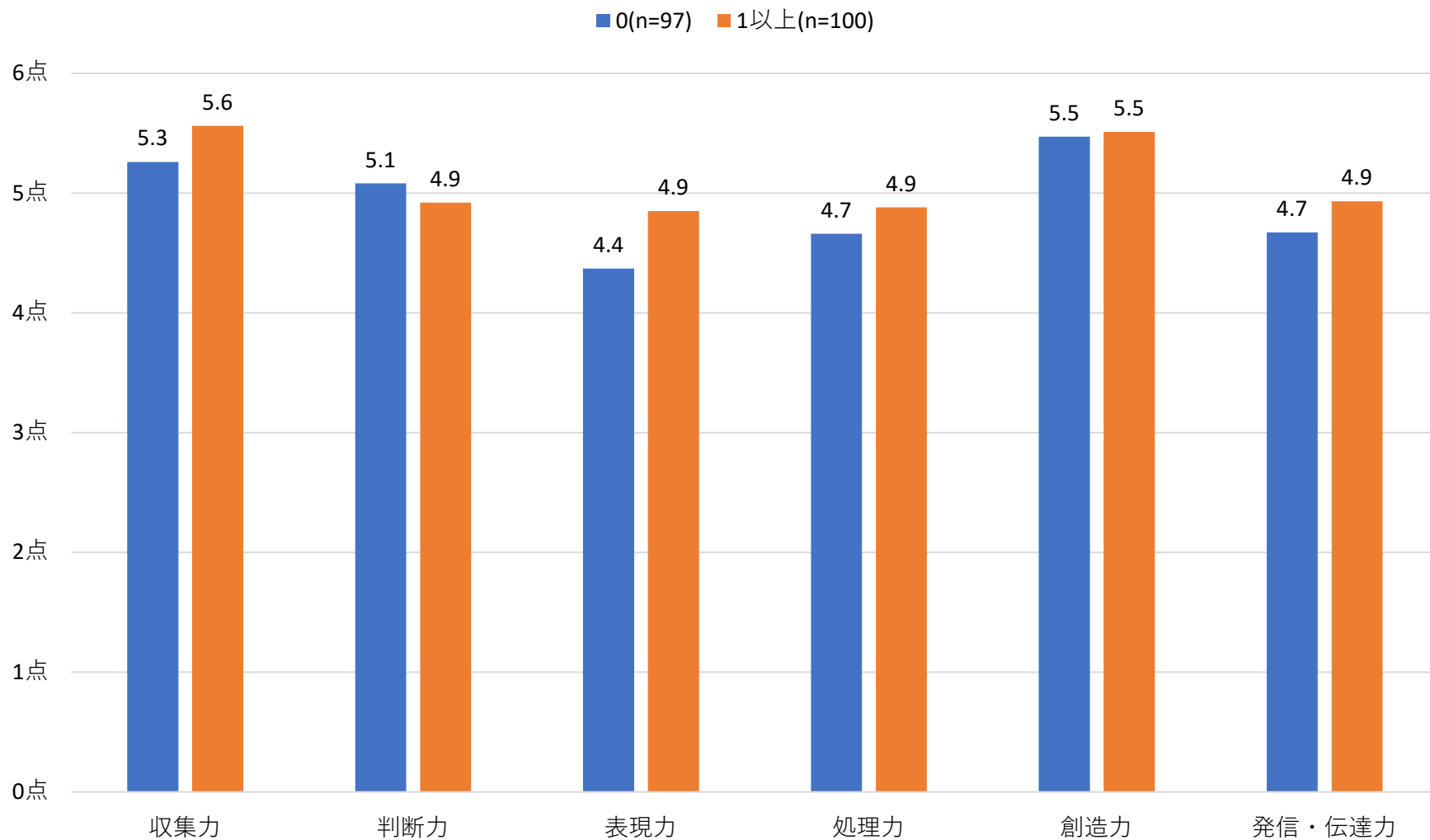


*<0.05 **<0.01 ***<0.001

少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する



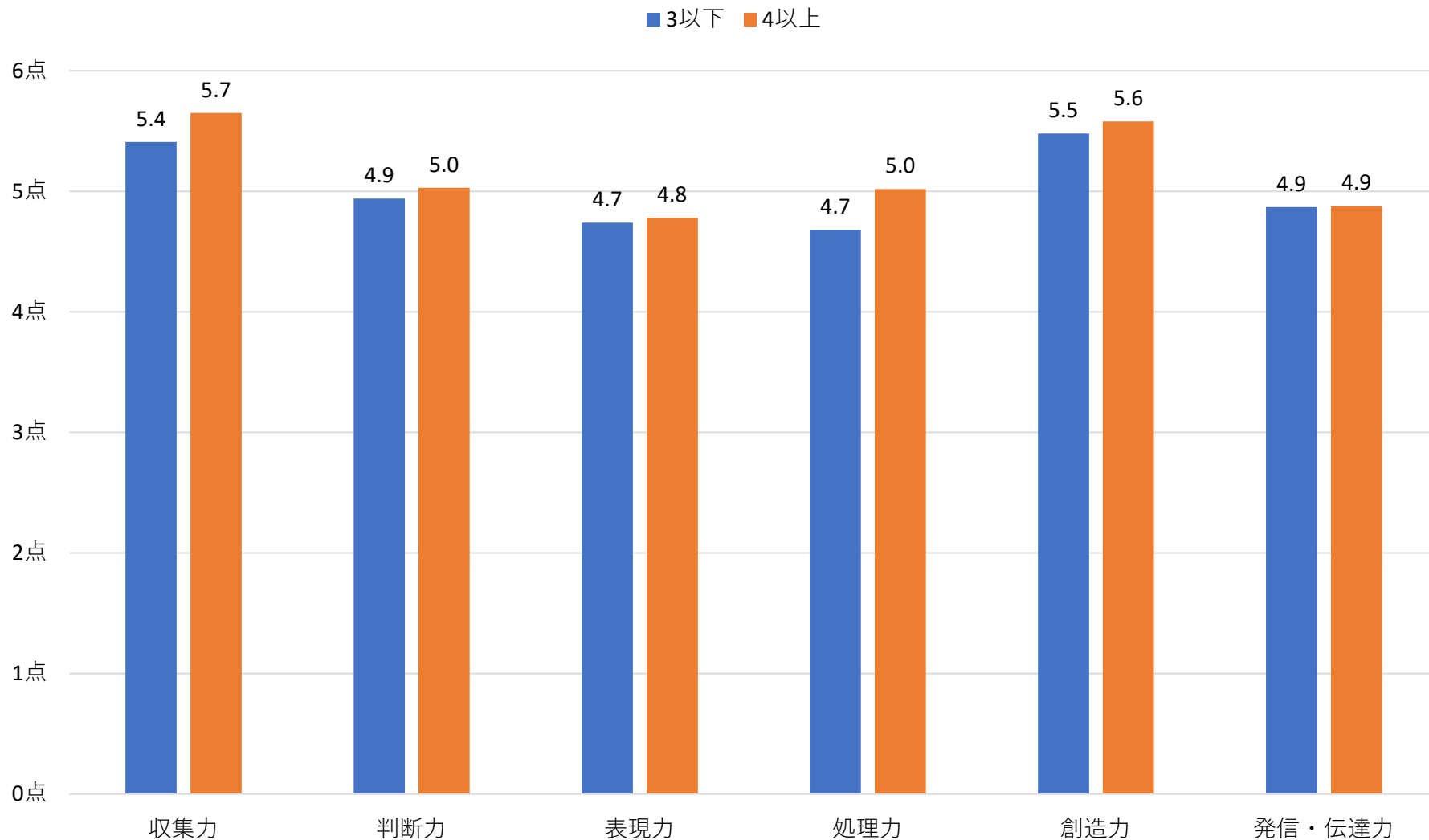
少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する



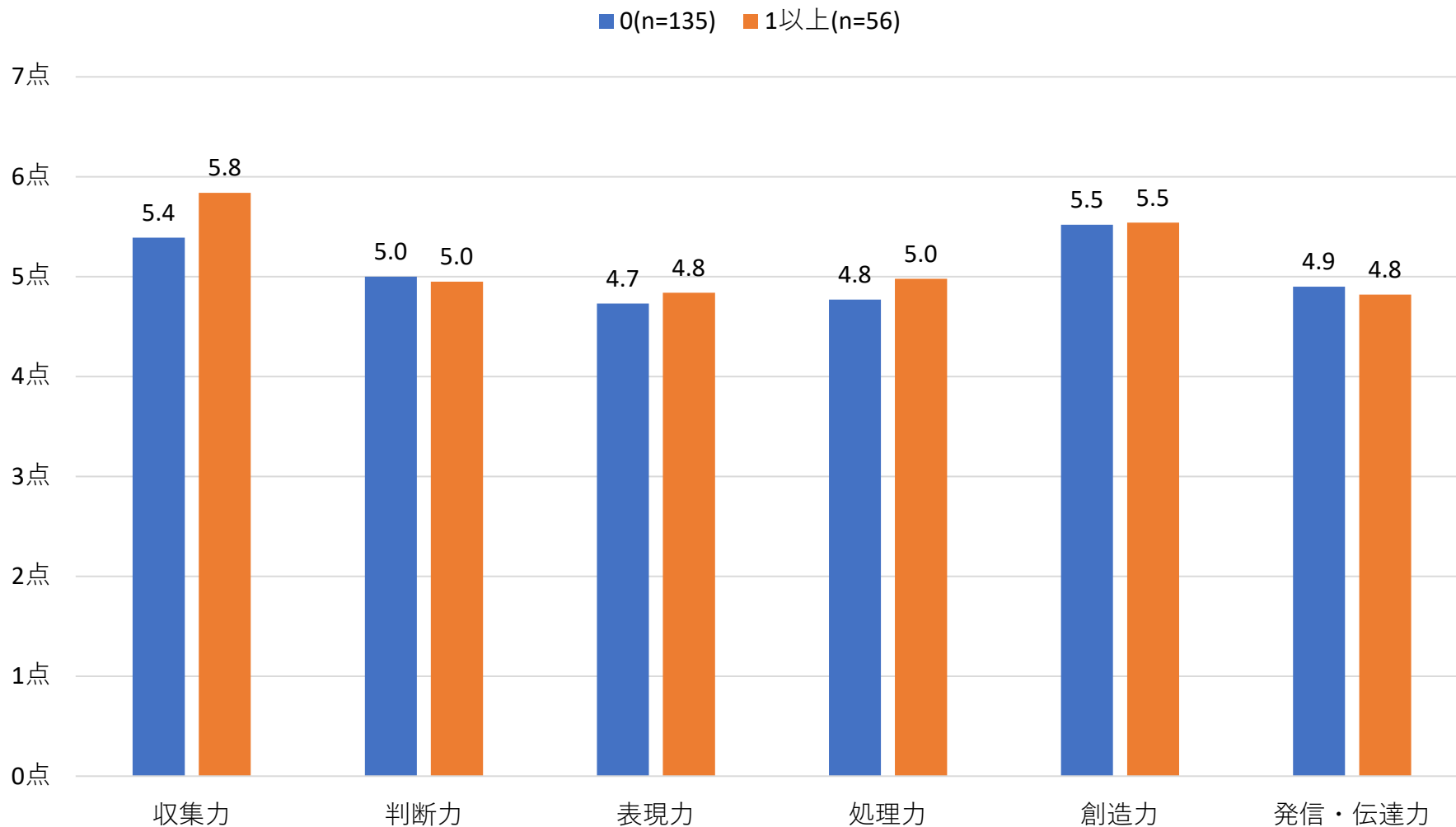
*

*<0.05 **<0.01 ***<0.001

少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する



少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する



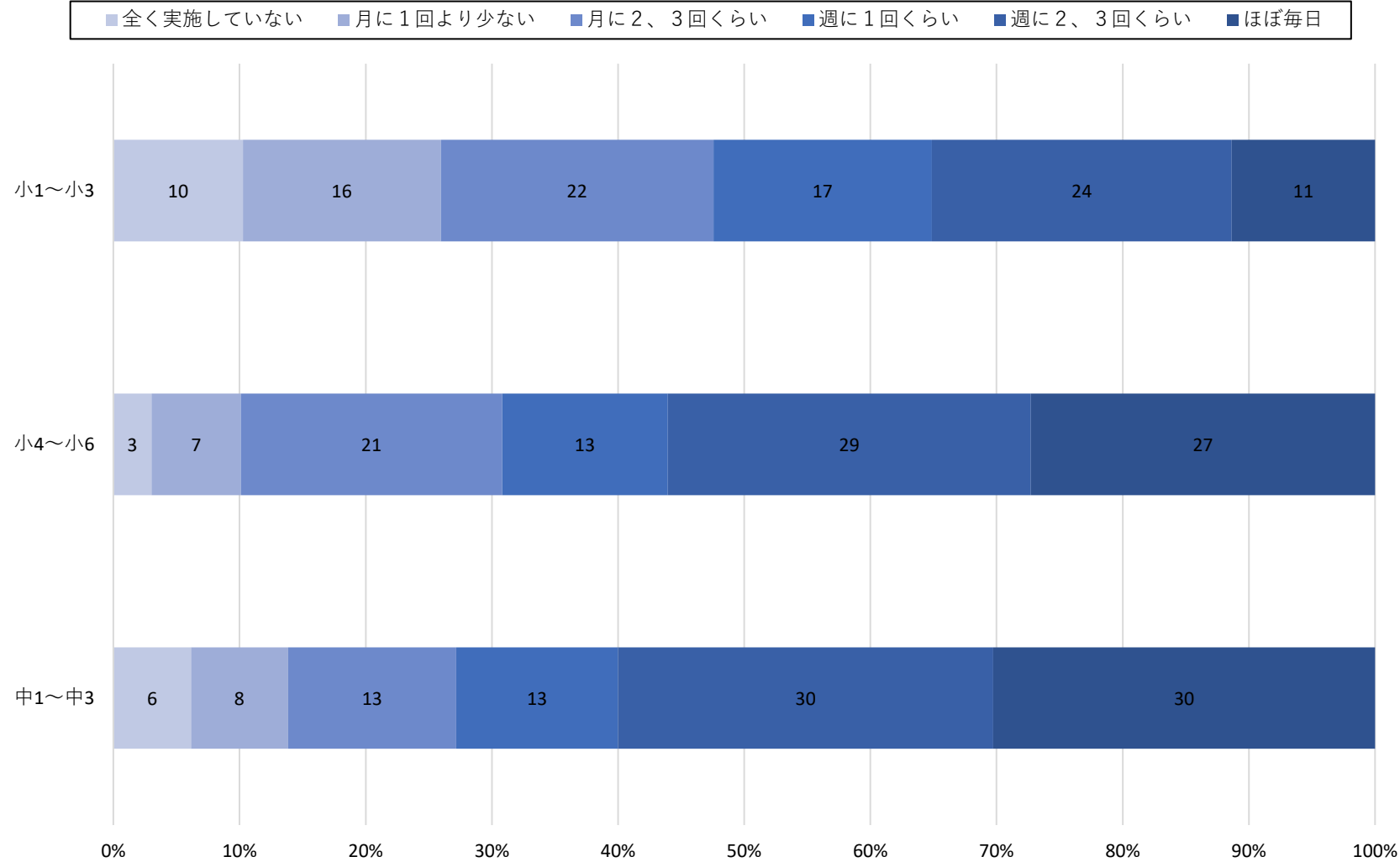
*

*<0.05 **<0.01 ***<0.001

少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する

		収集力	判断力	表現力	処理力	創造力	発信・伝達力	情報活用能力
基本	小1～小3	***		***	***	***	*	***
	小4～小6	***		***	**	**	*	***
応用スマホ	小4～小6			*				
	中1～中3							
発展パソコン	中1～中3	*						

少数の構成比が20%（回答者数約40）以上になる5項目について、情報活用能力を確認する



*<0.05 **<0.01 ***<0.001

- ◆自由で独立した立場から、モバイルICTがもたらす「光」と「影」の両面を広く解明するために2004年に設立
- ◆モバイル・コミュニケーションの現在および将来への社会・文化的影響を研究・分析して成果を発信

【主な研究テーマ】

経年変化を把握するため2010年から毎年実施しているモバイル動向調査(基礎調査)に加え、時流に合わせた個別調査を実施

光の伸張

モバイル動向(基礎調査)

<経年変化:2010年～>

子どものICT

シニアのICT

ニューノーマル

健康

防災・減災のICT

スマホ利用者意識調査

情報発信

影の縮小

【研究成果の発信】

<モバイル社会白書2022>



(書籍・電子書籍)

<モバイル社会研究所HP>

<https://www.moba-ken.jp>



(レポート発表)

<各種学会発表>

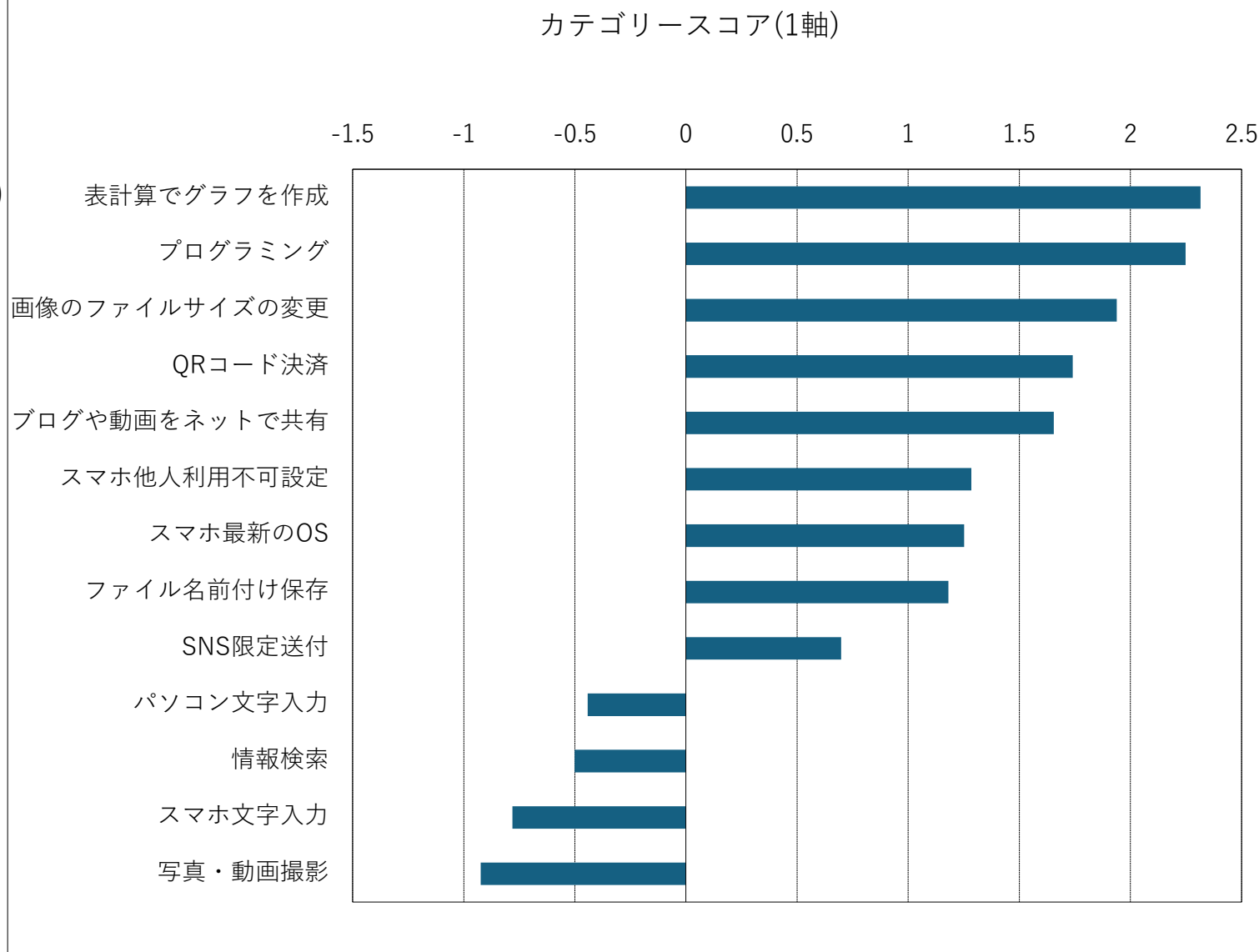
連携

連携

メディア掲載・データ引用・意見交換会等

1 軸は実施できる割合の多寡で分かれる

少ない（応用）

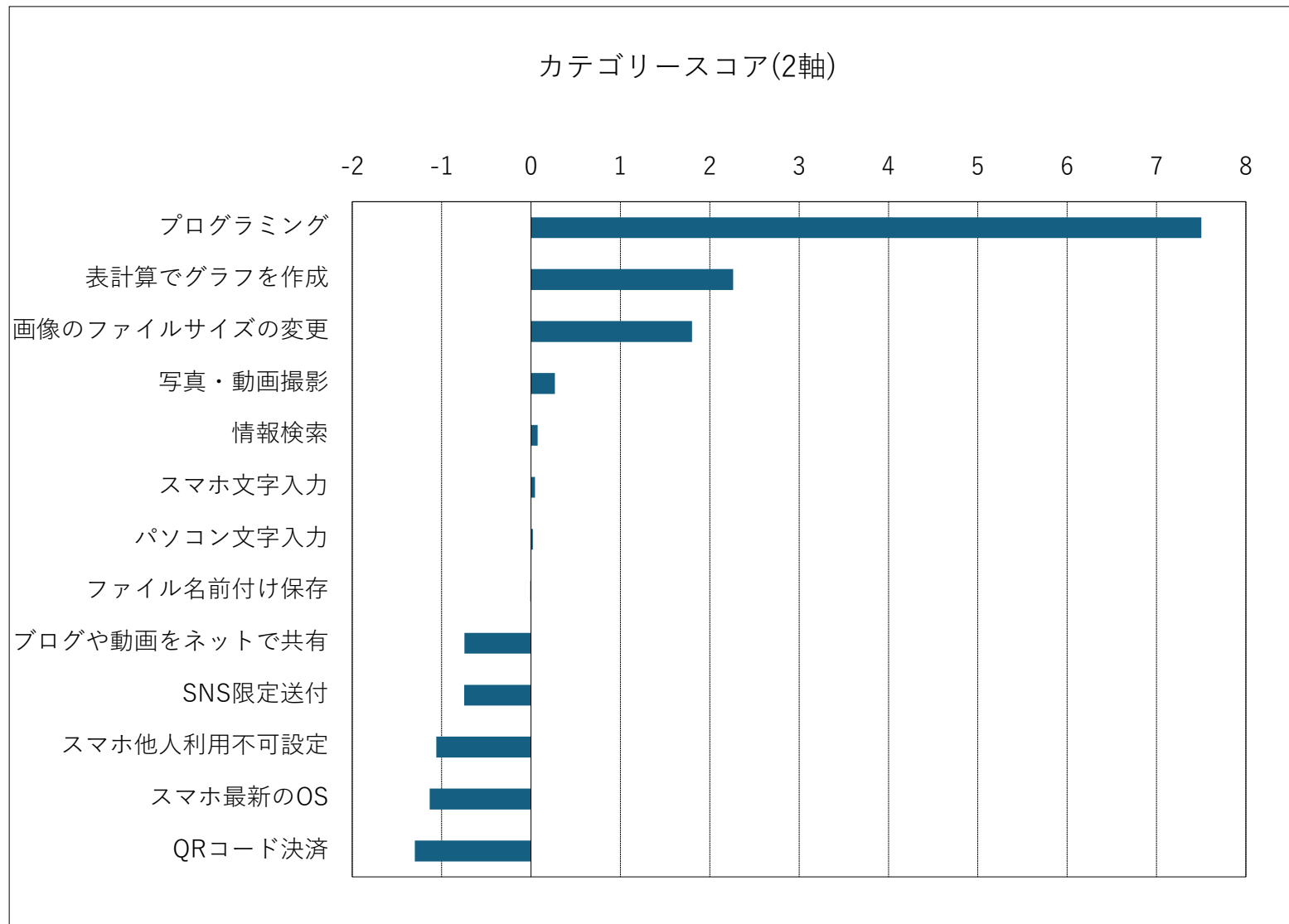


多い（基礎）

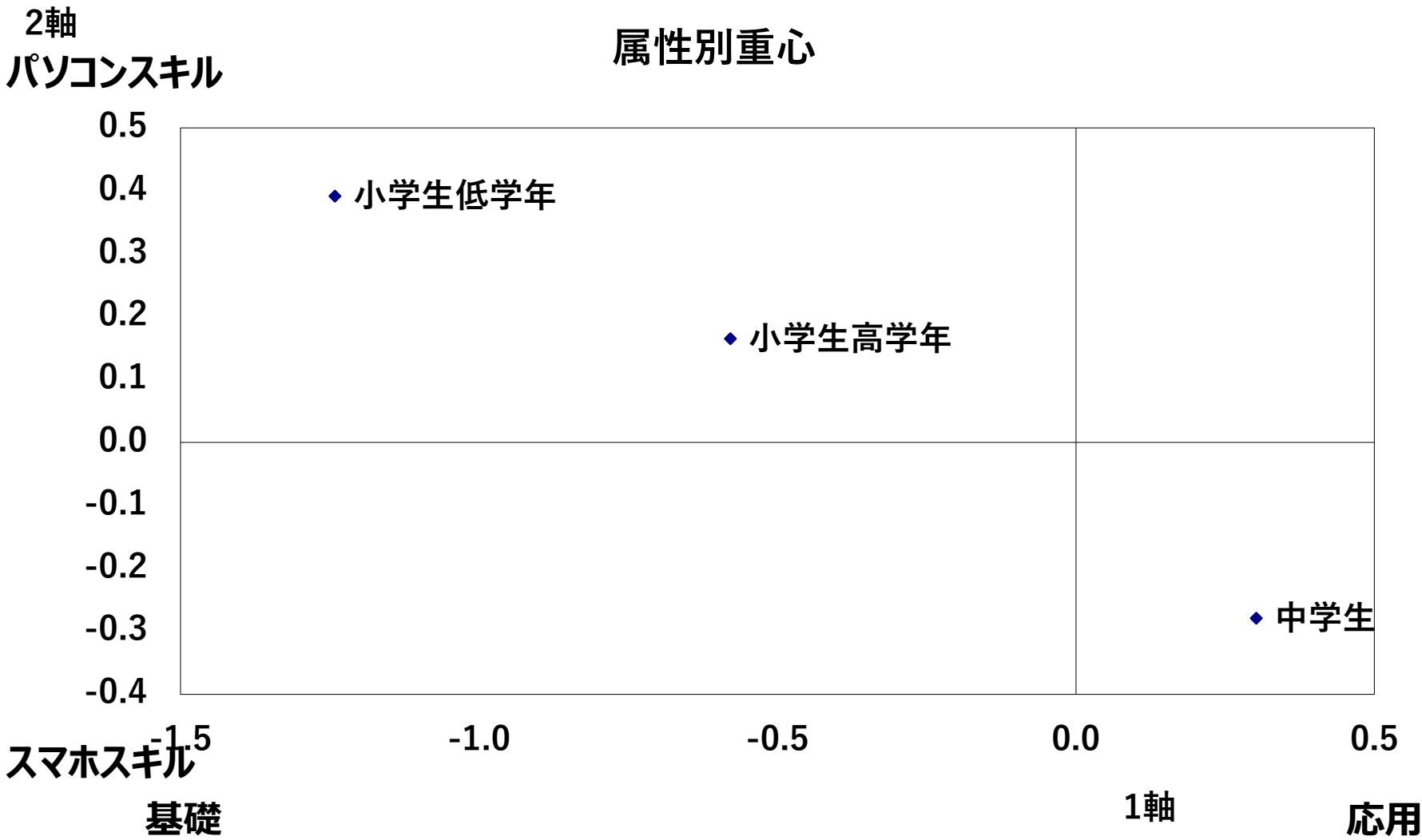
2軸は主にパソコンに関連するスキルか、スマホに関連するスキルかで分かれる

パソコンスキル

スマホスキル



「基礎スキル」「応用パソコンスキル」「発展スマホスキル」に分かれる



小学校低学年はインターネット利用時間多寡によるスキル差は少ない。
 小学校高学年及び中学生になるとインターネット利用頻度が多くなるとスマホスキル・応用傾向になる。

